

# 葉山町社協を知っていますか？

みんなが助け合う、

心豊かな町に！

地域福祉ひと筋に五〇余年、

多彩な活動を展開

新たなスタートを切りました。

葉山町社協は、町内会・自治会関係者をはじめ、民生委員、児童委員、福祉団体や関係行政機関、それにボランティアのみなさんなどで構成され、民間の福祉活動の中核を担っています。

\*

葉山町社協の日頃の活動を、もっと分かりやすく紹介すると、例えば町民の皆さんに身近なものでは、まずボランティア入門や点字、手話、録音、精神保健、福祉救援といった各種の福祉講座の開催があります。

また、福祉教育促進の一環として、毎年夏休みには、町内の小・中・高校生を対象に「親子体験講座」「サマーボランティアスクール」を実施。明日の葉山を担う子供たちが車イス体験や誘導体験をしたり、福祉施設や障害者の地域作業所、保育園などを訪問して、福祉

## どんな活動をしているの？

葉山町社協は、住民参加の基策定された「地域福祉活動計画」に基づいて活動を進めており、その内容は●小地域福祉活動の推進●ボランティアの育成・支援●福祉教育の促進●在宅福祉サービスの実施と開拓●地域の福祉ネットワークづくり●住民への福祉情報の提供など実に多彩です。



ふくしまつりの様子

このほか平成十二年度から介護保険制度が導入されたのに伴い、新たに「葉山町社協介護サービスセンター」を設立。要介護者のケアプランの作成やホームヘルパーの派遣など介護保険事業も行っています。



ふくしまつりの様子

## 社協って何？

地域福祉を推進するため、全国の市区町村に設置されている民間の福祉団体です。

葉山町社会福祉協議会は、戦後間もない昭和二七年に、任意団体として誕生しました。その後、時代とともに地域福祉の考え方が一層強く推進され、昭和六〇年に法人格を取得。社会福祉法人・葉山町社会福祉協議会として、

「社協」の名で親しまれている社会福祉協議会。葉山町社会福祉協議会も誕生から半世紀以上の長い歴史を持ち、この間、地域福祉の輪を広げ、みんなが助け合う「心豊かなまち葉山」の実現をめざして、様々な活動を展開してきました。その一方で、「社協って何？」「どんな活動をしているの？」といった町民の皆さんの声も耳にします。そこで、意外に知られていない葉山町社会福祉協議会の素顔を紹介しましょう。



親と子の福祉講座の様子



親と子の福祉講座の様子

の現場で体験学習を実施しています。さらに、毎年十月に盛大に催す恒例の福祉まつりは、多くのボランティアや関係団体が参加する事業の一つです。かつては一人暮らしのお年寄りを招いての会食会「みどり会」も実施。延べで二万人近い参加があり、大好評をいただきました。

\*

そして最近、特に力を入れているのが、小さなお子さんを持つ若い親を応援する子育て支援と、地域のお年寄りたちの生きがいづくり活動です。

子育て支援では、初めての企画として昨年度、「がんばればパパ&ママ！応援団」と題する講座を開講。さらに、葉山子育てフェスティバルや長柄地区ふれあい・子育てサロン研修会を開いて、育児に悩む若いパパやママたちを応援しました。



生きがいミニデイサービスの様子

こうした活動の中から、がんばればパパ&ママ！応援団の参加者を中心に、子育て支援グループ「葉っぱいKIDS」が誕生。本年度はここの連携で「ふれあい子育てサロン」の開催や子育て情報紙の発行など、活動の輪が徐々に広がっています。

一方、お年寄りたちの生きがいづくり活動は、「葉山町生きがいミニデイサービス事業」として、昨年度から本格的な取り組みが始まりました。

この事業は、おおむね六〇歳以上のお年寄りを対象に、食事やレクリエーションを楽しむ会を催し、地域ぐるみでお年寄りを支えていこうというものです。昨年度は町内十六カ所、計八五回の生きがいミニデイサービスが開催され、本年度も町内十六カ所で開催されています。

## 台所事情は？

ところで、葉山町社協の活動資金はどうなっているのでしょうか。

以上のような活動を展開するには、当然、それなりの財源がなくてはなりません。そこで台所事情を明かすと、県や町からの受託金、補助金、共同募金からの配分金、寄付金、そして町民のみなさんからの会費。これらが社協の活動を支える貴重な財源です。

しかし、台所は決して豊かとは言えません。葉山を福祉がいっぱい、みんなが助け合う「心豊かなまち」にしていくために、資金面でも町民のみなさんのご理解とご協力をよろしくお願います。



親と子の福祉体験講座の様子



ふれあい子育てサロンの様子

## これからの社協は？

葉山町社協は、半世紀を超える実績を踏まえながら、今後も「住民参加」をキーワードに、地域福祉の推進に全力を挙げて取り組めます。

その一つとして、現在、進めているのが地区社協の設置。地域ぐるみの助け合い精神を育て、より地域に合ったキメの細かい福祉を実現するため、町内を六つの小地域（木古庭・上山口・下山口・一色・堀内・長柄）に分け、それぞれに地区社協を設置する予定です。

地区社協は、既に木古庭地区で平成十四年度に福祉委員会として誕生しました。これを皮切りに今後、他の地域でも次々と地区社協が産声を上げることでしょう。また、誰もが安心と生き

がいをもつて豊かに暮らせる福祉いっぱいのもちづくりをめざして、平成十三年度に策定した現行の葉山町地域福祉活動計画をより住民が主役となる行動計画に

していくために、改定に向けた準備委員会が発足。現在、全面的な見直し準備作業が着々と進行中です。

問合せ 葉山町社会福祉協議会  
☎八七五―九八八九



生きがいデイサービスの様子